

# ジェンダーに配慮したODAの実現を目指して ～WIDからGADへ～

2007年3月

国際協力局 多国間協力課

【作成協力】  
大崎 麻子  
(ジェンダーと開発専門家、元UNDP・日本WID基金担当官)

## この教材の目的

1. ジェンダーの概念と主要開発課題との関連性を理解する
2. 日本政府の政策(ジェンダーと開発(GAD)イニシアティブ)を理解する
3. ODA業務において「ジェンダーの視点」をとりいれるための情報とノウハウを習得する

## I. ジェンダーと開発：イントロダクション

### ジェンダーとは？

#### セックス(生物学的性別)

- 遺伝子や染色体、生殖器官に基づいた性別(個人的)
- 男、女
- 対照的

#### ジェンダー(社会的性別)

- 社会通念・社会規範
- 男性らしさ、女性らしさ
- 階層的
- 時代と共に変化＝変化可能

## 世界の女性の状況

(出典:Progress of the World's Women 2000, UNIFEM)

- 貧困人口の70%
- 難民の80%
- 非識字人口の70%
- サハラ以南のアフリカではHIV/AIDS患者の55% (新規感染者は教育レベルの低い若い女性が突出して多い)
- 無償労働の70%を負担
- 国会議員の12%

## ジェンダーと開発

「ジェンダー」というのは、ひとつの独立した開発セクターではありません。どのセクターにも共通する「視点」です。どのセクターにおける支援においても、究極的な裨益者は「貧困者」であり、貧困者の中には男性も女性もいます。また、貧困人口の7割は女性が占めているといわれています。私たちの活動が人間中心の持続的で公平な開発、人間の安全保障を目指すものであれば、常に「ジェンダー」の視点を持ち、男女が同じように私たちの援助から裨益できるように配慮する必要があります。

## Women in Development (WID) Gender and Development (GAD)

### WID 「女性」に焦点

- 女性が主要な受益者及び参加者
- 女性を開発のプロセスに統合(女性の参加を促すこと)することで、より効率的で効果的な開発を目指す
- 医療・保健サービス、教育機会、生産資源などの「**实际的ニーズ**」の充足を目的とする案件を含む。(例:女子教育、女性を対象とした職業訓練や女性起業家支援、収入向上事業、家族計画、母子保健、農林水産業案件の中の女性対象の普及研修など)

### GAD 「男性と女性の関係性」に焦点

- 「ジェンダーの視点」に基づき、女性及び男性双方、そして社会・経済制度に働きかけ、持続的で公平な開発、社会を目指す
- 女性と男性双方が意思決定者たるような公平で持続的な可能性を目指し、「ジェンダーの視点」に基づいたアプローチ
- 社会的・政治的変革により男女不平等の制度や関係性を解消するための「**戦略的ニーズ**」に対応する  
例:  
□ジェンダー格差や不平等に直接働きかけるプロジェクト(ジェンダーに配慮した予算、法改正及び法整備、ジェンダー格差の調査、女性の政治参加促進など)  
□ジェンダーの視点に基づき計画されたプロジェクト(すべての分野)

## ジェンダー主流化とは？

### 開発のすべてのプロセスにおいて「ジェンダーの視点」を持つこと

- 男性と女性の状況を男女別データを用いて的確に把握する
- 男女格差の要因を分析し、それを解消できるような支援を行う(計画、予算配分、実施、モニタリング、評価のすべての段階)
- 男女のニーズの違いに配慮して援助計画・プロジェクト形成を行う。男女が同等に意思決定過程に参加するよう促す
- 開発政策・実施機関の体制に「ジェンダーの視点」を組み込む

## ジェンダーと開発(GAD)イニシアティブ

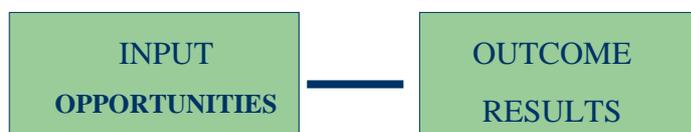
- 日本政府の政府開発援助(ODA)の政策のひとつ
  - ・ODA大綱の改定(2003年8月)
  - ・ODA中期政策の策定(2005年2月)
- 第49回婦人の地位委員会(北京プラス10)において正式に発表(2005年3月)
- 1995年に発表された「途上国の女性支援(WID)イニシアティブ」の改訂版

## GADイニシアティブの基本アプローチ

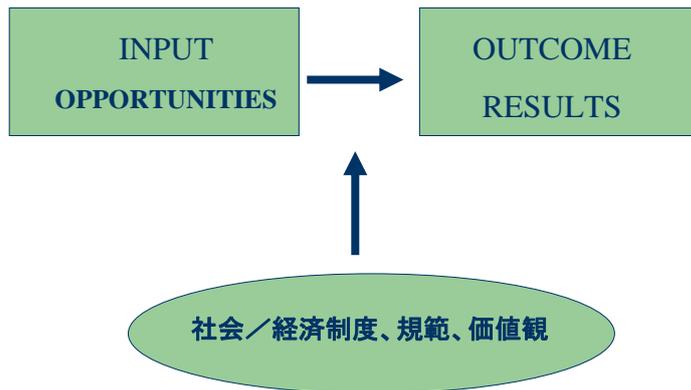
- 援助政策におけるジェンダー平等の視点の導入強化
- ジェンダー分析の強化及び女性の参加促進
- ジェンダー平等を推進する政策・制度支援
- 国際社会・NGOとの連携強化
- 組織の能力向上及び体制整備

## II. 「ジェンダーの視点」とは？

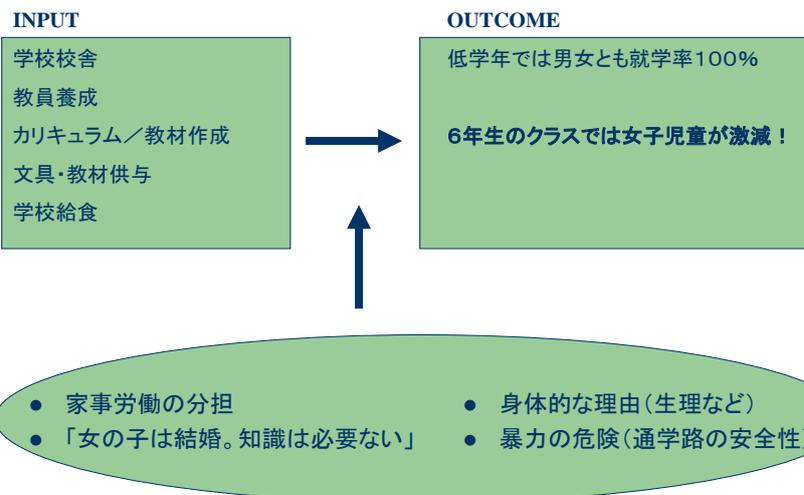
「開発はジェンダーに中立的。インプットや機会を平等に分配すれば、男女が変わりなく同じ結果を得ることができる」  
この論理は正しいのでしょうか？



答え:誤りです。



### 例1:初等教育の拡充(プロジェクトレベル)



## 例2: マクロ経済政策(政策レベル) 貿易自由化に伴う関税撤廃 ⇒ 税収減

### INPUT

#### 財政引締め政策の一例

- 水や食糧の供給、保健、初等教育、基礎医療等の公共サービス削減
- 民営化

### OUTCOME

#### 貧困女性への影響

- 労働時間と労働量の増加
- 健康状態の悪化
- 教育水準の低下

#### 公共サービスや社会保障がまずカットされる理由

- 政策決定過程における女性の発言力・影響力の度合い
- 女性の国家経済への貢献度
- 代替可能 — 無料・無尽の労働力

## 「ジェンダーの視点」

男女間の役割の違い、力関係の違い、家庭内及び社会的な地位の違い、発言力の違いによる格差、そしてニーズの違いについて認識・配慮すること。

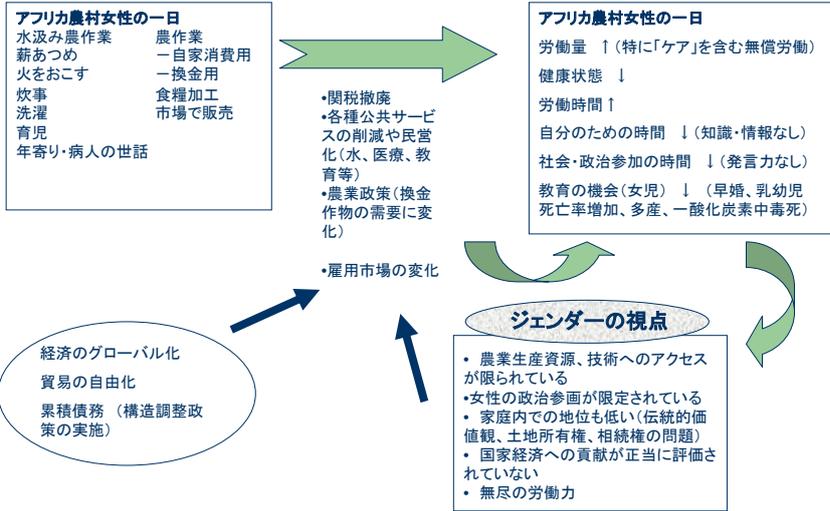
### 社会規範・伝統的価値観

- 役割分担、分業、力関係
- 生産資源、貨幣経済へのアクセスの度合い
- 家庭内やコミュニティでの発言力の度合い

### 構造的問題

- 法律(特に土地所有権や相続権など)、司法、行政
- 経済価値を伴う「生産活動・有償労働」 VS 国家の人的資源の育成に貢献しつつも経済価値を伴わない「再生産活動・無償労働」

## 例2: マクロ経済政策



## III. 「ジェンダーの視点」を開発業務に取り入れよう

## ケース・スタディ

### マクロ経済政策

- 輸出の促進
- 輸入の削減
- 財政支出の削減  
(社会サービス削減)

### 農民支援プロジェクト

- 女性農民の組織化
- 技術研修
- コーヒー農園での賃金労働

#### 女性

「食」に責任  
土地は持たない  
自家消費作物の生産  
食糧加工、販売 (現金収入)  
炊事 (薪集め、水汲み)

#### 男性

「住居、衣料、教育」  
土地を管理  
換金作物の生産  
生産資源や技術を持つ  
輸出用換金作物の生産

- 現金収入はアップ。でも消費につながらず。
- 女性の労働量・労働時間大幅アップ
- 労働力も土地も、輸出換金作物生産に投入され、食糧生産・供給がダウン
- 健康状態ダウン
- 子供の栄養失調続出

## 「ジェンダーの視点」の担当業務への反映 : 政策レベル

### ジェンダーの視点

- 輸出用換金作物と自家用換金作物のバランスは？食糧供給との関係は？
- その輸出用換金作物の国際競争力？他国は何を作っているのか？
- 財政支出の削減項目は妥当か？社会サービス削減で影響を受けるのは誰か？貧困層に対する配慮は？
- 農作業や農業労働市場における男性と女性の分業は？

### 業務への反映

- ジェンダーに中立的にみえる政策が、本当に男女に同じ影響を及ぼすのだろうか？という疑問を常に持つ
- マクロ経済政策のジェンダー分析・影響調査を行う (または、他国、国際機関、ドナー援助機関の調査を参考にする)
- 経済政策の改革論議に、「ジェンダーの視点」を導入するよう働きかける
- 政府やドナーによる支援計画や事業から女性が公平に裨益しているかどうかを確認する

## 「ジェンダーの視点」の担当業務への反映 :プロジェクト・レベル

### ジェンダーの視点

- 農作業における女性の役割は？男性の役割は？
- 家庭内における男女の役割は？
- 現金収入の使い道は？
- 女性農民はどのような作物を作っているのか？

### 業務への反映

- 「農民」には男性と女性がいて、生産資源へのアクセスの度合いに格差があり、従事する作業も違う。従って、それぞれ違うニーズがあることを念頭におく。
- 生産資源へのアクセスの状況の把握。
- 生活時間調査の実施とジェンダー分析（家庭内と農作業における役割分担、労働量や労働時間における格差）。
- 男女別のニーズ調査。
- 女性組合などへの聞き取り調査。
- 他国や他の援助機関で行われたプロジェクトの事例（成功例・失敗例）を参考にする。

## IV. 参考資料